

事業結果要約報告書

受付番号

2025 KJ-019

—科学技術振興関係—

公益財団法人 **マツダ財団** 御中

2026年2月20日

所属機関名 徳山工業高等専門学校

申請代表者

役 職 准教授

フリガナ ミヤザキ リョウイチ

氏 名 宮崎 亮一 印

(TEL :)

マツダ財団から受けた 助成金 90千円 による事業結果について、
次のとおり報告します。

助成事業名

まるごと徳山高専2025～子供たちの“心”を育むモノづくりワークショップ～
(事業期間：2025年6月1日～2026年5月31日)

	計 画	実 施 結 果
事 業 内 容	<p>日時：2025年8月9日（土）10:00～16:00 場所：周南市徳山駅前賑わい交流室 インフォメーションスペース 対象：周南市および近隣地域の小学生，幼児，児童およびその保護者 定員：100名程度 内容：各専門分野（機械電気，情報電子，土木建築）に基づいた体験ブースを設置し，子どもたちが「見て・触れて・つくる」科学体験を楽しめるよう構成する。</p>	<p>日時：2025年8月9日（土）10:00～16:00 場所：周南市徳山駅前賑わい交流室 インフォメーションスペース 対象：周南市および近隣地域の小学生，幼児，児童およびその保護者 参加者(人)： 高専教職員6人，補助学生22人 未就学児：10人，小学校低学年：37人，小学校高学年：44人 内容：各専門分野（機械電気，情報電子，土木建築）に基づいた体験ブースを設置し，子どもたちが「見て・触れて・つくる」科学体験ワークショップを実施した。</p>

※太枠内は後日「事業助成報告書」と「マツダ財団ホームページ」へ掲載させていただく予定ですので、予めご了承ください。「事業助成報告書」は、1件あたり見開き2ページ程度。

事業の目的・ねらい

本事業は、徳山工業高等専門学校各学科（機械電気、情報電子、土木建築）の特色を活かした科学体験を通じて、幼児・児童が先端的な技術に触れる機会を提供し、知的好奇心を刺激するとともに、科学への関心を育むことを目的として実施した。学校教育や家庭では体験が難しい実践的なモノづくり活動を短時間で体験できる構成とし、徳山駅前の賑わい交流施設を会場とすることで、参加しやすい環境づくりを意図した。実施当日は、子どもたちが体験に夢中になり、目を輝かせながら制作や実験に取り組む姿が多く見られ、当初の目的は十分に達成できたと考えられる。

事業の概要

本事業は2025年8月9日に周南市徳山駅前賑わい交流施設にて実施した。事前申込制とし、未就学児10名、小学校低学年37名、小学校高学年44名の計91名が参加した。若干のキャンセルはあったものの、ほぼ満席での実施となった。保護者もほぼ全員が同伴し、兄弟参加も多く、家族単位での参加が目立った。

機械電気、情報電子、土木建築の各分野に基づく3つの体験ブースを設置し、回遊型の構成とした。各ブースには定員を設けたため混雑は生じず、参加者は円滑に複数分野を体験することができた。教職員6名が主に説明を担当し、学生約20名が制作補助や体験支援を行う体制で運営した。

成果・効果

本事業には28件のアンケート回答があり、運営満足度は4段階評価で平均3.75、ワークショップ満足度は平均3.71と高い評価を得た。難易度についても平均3.04（5段階評価）であり、年齢に応じた内容調整が概ね適切であったことが確認できた。自由記述では「家庭ではなかなか体験できないことを体験できた」「とても楽しく学ぶことができた」といった意見が多く見られ、本事業が科学への関心を喚起する機会となったことがうかがえる。また、リピーターの参加も一定数あり、地域に定着しつつある取り組みであることが示された。

高専生にとっても、本事業は大きな学びの機会となった。学生は子どもに積極的に声かけを行い、保護者に対しても説明する姿が見られ、回を重ねるごとに対応がスムーズになるなど成長が確認できた。普段の授業では得がたいアウトリーチ経験を通じて、伝える力や対話力の向上が期待できる取り組みとなった。

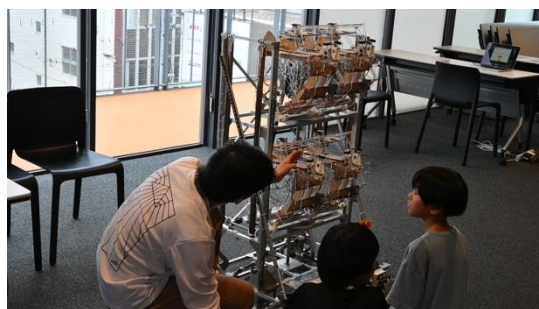
写真、図（4点程度。写真や図にはタイトルをご記入ください。）



空気で動く機械を作ろう！



針で聞こえるアナログスピーカーを作ろう！



高専ロボコンのロボットの展示



三角の力を活かした
カラフル立体模型を作ろう！

※ 3ページ以降も自由に追加いただいて結構です。

※この「事業結果要約報告書」(Word)、デジカメ写真の画像(.jpegなどで、解像度を下げないもの)を、CD-R等に入れてご提供いただければ幸いです。

※みなさまの活動を「事業結果要約報告書」や「マツダ財団ホームページ」で、写真も含めてご紹介したいと思っております。写真撮影の際には、参加者の皆様にもその旨了解を得ておいてください。